

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)

■発行人 羽山 治美

■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年2月5日(火)

第158号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

対政府要求案づくりスタート**退職者連合と連合で政策調整** **年金や医療、介護を主要テーマに**

退職者連合と連合は、1月29日午後、連合本部で次年度の“政策・制度”(退職者連合「2013年度対政府要求案」・連合「2014年～2015年度政策・制度 要求と提言案」)の取りまとめに向けた政策調整の会合を持ち、年金や医療、介護など主要なテーマについて意見交換を行いました。

(写真右:政策づくりに向けて意見交換。退職者連合・左側、連合・右側。1月29日連合本部7階)

**阿部 意見交換の意義強調****菅家 政府に社会対話申し入れ**

会合には退職者連合から阿部保吉会長、羽山治美事務局長、木村寛事務局長次長、林道寛事務局長次長、年金専門委員会の太田敏夫委員長、医療・福祉専門委員会の川端邦彦委員長ら6名が出席。連合本部からは、総合政策局の菅家功副事務局長、川島千裕総合政策局長、花井圭子総合政策局長、末永太経済政策局長、漆原肇社会政策局長次長、伊藤彰久生活

福祉局長の6名が出席しました。

川島総合政策局長の司会で始まった会合では、冒頭、退職者連合の阿部会長と菅家副事務局長がそれぞれ挨拶しました。阿部会長はこれまで対政府要求と議員要請行動を取り組んできたことを報告、「年金、医療、介護では退職者連合は政府の審議会メンバーではないので連合に今後もお願いしたい。特に地方からは連合との政策一致の要望が強く、すり合わせをしっかりと行い、不一致点がないようにしていきたい」と意見交換の意義を強調しました。

また菅家副事務局長は社会保障と税の一体改革にふれ「社会保障制度改革国民会議がスタートした。この中には連合が入っていないので甘利大臣に“社会対話が重要だ”と申し入れ、2月19日の午後に連合、経済3団体に対するヒアリングが入った。この場では、年金、医療、介護などの大きな課題についてしっかりと要請していきたい」と決意を述べました。なお、次回の打ち合わせは、3月12日開催予定の退職者連合第4回幹事会前にメンバーを絞って行うことを確認しました。

連合全国アドバイザー交流・研修会 「みなさんの知恵と力を貸してほしい」

阿部会長があいさつ

連合が1月31日から2日間、熱海・後樂園ホテルで開催した「全国アドバイザー交流・研修会」で退職者連合の阿部保吉会長が連帯のあいさつをしました(写真中)。また阿部会長は夜の交流会にも参加して全国のアドバイザーとの連携を深めました。参加者は93名。今回で3回目となるこの交流・研修会に退職者連合が招かれるのは初めてのことです。



△組織拡大で熱心にグループ討議する参加者(右端は連合鳥取の赤井アドバイザー。赤井さんは鳥取高退連でも活躍している)

102名が全国で活躍

阿部会長はあいさつの中で「ご招待いただいたことはすばらしいことだ。研修会には地方の退職者連合の役員やOBの方も参加されている。退職者連合は今、1000万連合の実現と連携して現退一致で300万会員に向けた組織拡大に取り組んでいる。皆さんのお知恵と力をお貸しいただきたい」と力強く連帯を訴えました。これを受けて山根木晴久総合組織局長もまとめの中で「ともに連携していこう」とあいさつしました。

全国アドバイザー(オルグ)と

は、地域における組織拡大の取り組みを強化するために連合が11年前に創設した制度です。アドバイザーには現役のときに組合役員やオルグとして活動し、定年退職したベテランの方を採用の対象とし、連合が実施する講習を修了した方を毎年全国アドバイザーに認定しています。今年度の認定者21名も含めて、現在全国で活躍するアドバイザーは約102名です。アドバイザーのほとんどは、退職者連合の会員でもあり、今後、退職者連合が地域での運動を強めていく上で、こうしたアドバイザーとの連携が重要となってきました。

さらに今まで以上に地方退職者連合加盟の地元のベテラン会員の中から積極的に全国アドバイザーや連合地協の事務局長などを引き受けていくことも求められます。実際に2013年度連合地協の専従役員体制一覧によると60歳以上の方が役員の67%を占めています。

今回、阿部会長が参加することになったのは、退職者連合として今後の地域活動での連合と連携強化と全国アドバイザーとして活動されている地方退職者連合の会員の方との交流のためです。なお、交流・研修会には林道寛事務局次長も参加しました。